

会員募集中!

活動を応援して下さい!

入会金なし 年会費：正会員 2000 円・賛助会員 1000 円・サポート会員 無料

福岡県『平成 22 年度 ふくおか共助社会づくり』表彰 地域貢献活動部門賞を受賞しました!

福岡県では、新たな共助社会の実現に向け、NPO・ボランティアと企業・団体・行政との優れた協働の取組や、NPO・ボランティア・企業・団体の他の模範となるような社会貢献活動を表彰する『ふくおか共助社会づくり表彰』を行っています。

この度、H22 年度の地域貢献活動部門賞 (NPO・ボランティア又は企業・団体が行う地域における社会貢献への取組で、顕著な成果をあげているもの) という賞を頂くことができました。(H22 年度の表彰は、協働部門賞 6 件 14 団体、地域貢献活動部門賞 10 件 10 団体、共助社会づくり奨励賞 5 件 7 団体)

H23 年 3 月 28 日に行われた活動報告会及び授賞式に参加し、麻生知事から表彰状を頂きました。

一昨年は、福岡市から「環境行動賞 優秀賞」を頂きました

が、今回、県からも表彰していただき、会員一同、大変嬉しく、ありがたく思っています。これも、当会の活動をサポートして下さっている方々のおかげです。これからも、皆様と共に活動を進めていきたいと思ひます。今後ともよろしくお願ひいたします。



講演会を開催

『アフリカゾウから世界が見える』

H22 年 11 月 28 日(日)福岡市天神ビルで、湿地研主催(福岡市後援)の講演会『アフリカゾウから世界が見える!』を開催しました。グローバルな視点からみた野生生物と人との共存について、そして地元福岡の豊かな自然について、3 人の方に講演していただきました。

参加して下さった方々は、熱心に聴いてくださっていました。「遠く離れてはいるけど、繋がって考えるべきアフリカの話。身近な川魚と植物が次第に変化していること。最近何となく感じていたのが現実なんだと痛感しました。分けて考えがちな事象の関連性をあらためて教えて貰ったようです。」など、多くの貴重なご意見を頂きました。ここで聴かれた内容を、さらに周りの方に伝えてくださると嬉しいです。

講師と演題

中村千秋さん (アフリカゾウ国際保護基金客員研究員・NPO法人 サラマンドフの会代表 20 年以上に渡り、ケニヤで野生のゾウと地域住民の共存のための活動を継続 著書・受賞歴多数)

『アフリカゾウから世界が見える』

鬼倉徳雄さん (九州大学農学研究院・農学博士 専門は魚類 福岡をベースに生きもの達の環境の保全に取り組んでいる)

『身近な川の魚たちが語る夢のお話』

新田梢さん (九州大学理学研究院・理学博士 専門は植物 当会会員)

『植物が教えてくれる福岡の素晴らしさ』



コアジサシ子育て応援 2011

日本に繁殖にやってくる夏鳥コアジサシの子育て応援活動を今年も行いました。(昨夏の繁殖場所は、海の中道海浜公園内と西戸崎海岸)

昨年同様、国営「海の中道海浜公園」事務所のご協力を頂き、「子育て応援隊 2011」の参加者を募集。10 家族と個人の方 37 名が参加して下さいました。5 月、皆さんとコアジサシ誘致用のデコイ (模型) を作り、海浜公園の砂浜に設置しました。

西戸崎海岸は、昨年の経緯を踏まえ、市港湾局と協同で、市職員の方と一緒に砂浜を均し、保全のための看板を設置、また、人の立ち入りを防ぐためのロープを張りました。

その後、調査を続け、7 月初旬に海浜公園内で約 80 営巣を確認。応援隊の皆さんにヒナ観察会開催のご案内を出しました。ところが、その直後に営巣放棄… 原因としては、営巣地の上空をエンジン付きのハンググライダーが低空飛行していたこと、カラスが昨年より多かったこと等が考えられます。

しばらく周辺の調査を続けましたがコアジサシの姿は消え、今年度の博多湾周辺での繁殖は無しという残念な結果になりました。応援隊の皆さんに可愛いヒナを見ていただいたかったと思います。(この活動は、読売新聞・西日本新聞・KBC が報道して下さいました)



H23.5 月 デコイ作り



多々良川の清掃活動、続けています

毎月第4日曜午後に行っている多々良川の清掃とミニ観察会。地域の方にも定着し、また企業単位での参加や、ホームページを見られて参加して下さる方など、毎回、多くの方に参加いただいています。悪天候などで中止した時もありますが、昨年9月以降では、以下の日に実施しました。

H22年 9月26日・10月24日・11月21日

H23年 1月23日・3月12日・3月27日・4月24日・
5月22日・7月24日

また、釣りの専門学校の学生さんや釣り人のグループ『フイーモ』の方たちとの清掃も別途続けています。



H22.9月



H23.3月

その他の活動あれこれ

当会主催の観察会、小中学校・公民館などからご依頼いただいたの観察会等も、たくさん行いました。また、各種イベントや一斉調査にも参加させていただきました。

H22年 9月5日 シギ・チドリ類秋期全国一斉調査 参加

9月15日 多々良中学校
多々良川の環境と生きものについて、お話

9月29日・11月4日・11月13日
福津市津屋崎小学校

津屋崎の環境とクロツラヘラサギについて、子ども達の研究発表のお手伝い **東箱崎小観察会**



東箱崎小観察会

10月18日 フィッシングスクール
釣りの専門学校生に釣りゴミ問題について講義

10月30日 『博多夢松原の会』フォーラム 参加

11月1日・11月5日 東箱崎小学校 多々良川のお話と観察会

11月6~7日 『30世紀福津フォーラム』 展示参加
『西戸崎公民館文化祭』 2010 夏の西戸崎海岸におけるコアジサシの繁殖についてパネル展示

12月12日 当会主催 多々良川観察会

H23年 1月15日 松島公民館 多々良川観察会

1月23日 クロツラヘラサギ世界一斉調査
シギ・チドリ類冬期全国一斉調査 参加

2月5日 東箱崎公民館 多々良川観察会

2月8日 名島小学校 多々良川観察会

2月18日 多々良川で地引き網による魚類調査開始

2月19日 「多々良川ミニ文化祭」 参加

『クロツラヘラサギを守ろう』寸劇と展示

3月19日 福岡商工会議所「あるっく福岡」 多々良川観察会

4月17日 シギ・チドリ類春期全国一斉調査 参加

5月3日 大分県中津干潟の鳥類調査 協力

6月30日 香稜小学校 香椎海岸の環境と生きものについて
お話(観察会の予定だったが雨のため観察会は延期)

7月15日 「第1回日韓干潟交流ワークショップ」(WWFと韓国海洋研究院の共催)で、博多湾周辺の現状説明と現地視察案内



日韓干潟交流WS

南区井尻上池の保全活動



H23.3月



H23.5月

上池では、2ヶ月に一度自然観察会を実施、観察会を行わない月には草刈りなどの池の保全活動を行っています。市政便り南区版に年間活動計画を掲載していただいたこともあり、少しずつ参加して下さる方達が増えてきています。

湿地研通信 13号で報告しました以降に開催した観察会は以下の通りです。観察会終了後には、ゴミ拾いや草刈りなどの保全活動も行っています。

H22. 9月26日 トンボが帰ってきたよ

11月23日 「ひつつきむし」で遊ぼう

H23. 2月20日 上池で冬を過ごす鳥たちを観察しよう

3月27日 春の野草を食べてみよう

5月22日 水の中の生き物を探そう

7月24日 夏草とトンボを観察しよう

「福岡市環境フェスティバル 2010」に参加

H22年 10月23~24日に福岡市役所前広場で開催された「福岡市環境フェスティバル 2010」に参加、出展しました。このイベントは、福岡市が行っている「エコ・ウェイブ・ふくおか」のメインイベントとして開催されている環境イベントで、約50の団体が出展、講演など様々な催しもありました。二日目の朝は大雨になりましたが、二日間での来場者数は約3万7千人と多くの市民の方で賑わっていました。

当会は、福岡市周辺で見られる生きもののパンフレットやキャラクターグッズなどを展示。いつもは東区役所1階ロビーにいるクロツラヘラサギの剥製も出張し、環境保全を訴えてくれました。

今秋も参加しますので、当会のブースにも是非お立ち寄りください。



クロツラヘラサギ保全ポスター 南区に掲示

福岡市内で溜め池の数が一番多い南区。クロツラヘラサギが、この溜め池を利用している可能性があるため、南区役所生活環境課のご協力を頂き、『目撃情報をお寄せ下さい』のポスターを作成し、昨年秋から、公民館等の公共の施設に掲示していただいています。



長い間、『湿地研通信』の発行が滞ってしまいました。この間にも、お伝えしたいことは、たくさんたくさんありましたが、お届けできず、申し訳ございませんでした。また、当会のことをお伝えできるよう頑張りますので、よろしく願いいたします。(kouno)

NPO法人「ふくおか湿地保全研究会」は、福岡市周辺の環境・野生生物調査を行い、その調査結果をもとに環境保全活動を行っているグループです。開発などにより失われてきた自然を補っていくための方策を、市民の皆さんと共に、考え、行動していきたいと思っています。調査や活動を通じ、保全に努めていきます。詳しくは、**ホームページ**をご覧ください。一緒に活動して下さる方を待っています。あなたも、参加してみませんか？

発行：NPO 法人 福岡市周辺の環境・野生生物調査研究会

理事長：服部卓朗 福岡市東区千早 1-6-14

電話：090-2850-6859

ホームページ：<http://wetland-research.org/>

E-mail webmaster@wet-fukuoka.sakura.ne.jp